

県議会 少子・高齢化対策特別委員会

介護
保険

低所得者対策、国庫負担増額を

6月1日現在、県内の特別養護老人ホームの入所待機者は7321人と説明されました。

私は、「介護認定者が増えるが療養病床は削減される方向だ。果たして十分な介護サービスが供給できるのか」「介護の現場では、重労働・低賃金で人材不足になっている。介護報酬を上げてほしい」

**特養待機者7321人
療養病床削減でサービスは**

6日、県議会少子・高齢化対策特別委員会で、介護保険について取り上げました。県も市町も、高齢者保健福祉計画や第4期の介護保険事業に關わる計画を策定中で、来年度は介護保険料が改定されます。

委員会では、県内の特別養護老人ホームの入所待機者は7321人と説明されました。

私は、「介護認定者が増えるが療養病床は削減される方向だ。果たして十分な介護サービスが供給できるのか」「介護の現場では、重労働・低賃金で人材不足になっている。介護報酬を上げてほしい」



2008年10月19日
第49号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子

〈連絡先〉
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅 山形市南田2-10-5
電話 023-642-2365



総選挙勝利

街頭宣伝・事務所開き

(写真上、左から)高橋ちづ子衆院議員、佐藤比呂・山形1区予定候補ととも市街調音伝=11日、山形市東青田
(写真下)衆院比呂・山形1区合同事務所びらき=6日、山形市

**保険料利用負担
予定に限り**

という切実な声があるが、動向はどうかと質しました。

「介護サービス供給体制整備は各自自治体で努めているが、保険料との兼ね合いがある」と、介護報酬は、国で審議中であるが、引き上げの方向と答弁しました。

シャワーが介護プランを作成する時には、利用者に支払えるかどうかを計算を聞いてから作成している例が多い。また、特養ホームも国がすすめるユニツケアは利用料が高くなり、低所得者が入所できないという声がある。これを低所得者対策が必要だ」と指摘。

「保険料や利用料の負担増は、県として限定されており、県としても介護保険の国庫負担を引き上げるように国に言うべきだ。社会保険の伸びを毎年2200億円削減する国の姿勢が問題だ」と強く主張しました。

石塚雅啓介護・予防支援室長は、「いままで市町村の担当者からは、低所得者の軽減対策や国庫負担増額を求めた声

日10日、県議団を代表し反対討論に立ちました。

県立米沢女子短期大学、同保健医療大学の地方行政法人化にかかわる議案に対しては、公的責任を後退させ採算重視となり、教育環境の質の低下や学費値上げが指摘されました。

酒田北港緑地展望台や県総合運動公園など6施設の指定管理者の利

国にあらがっていることは、充分認識している。県として今後も努力していきたい」と述べ、高橋節健康福祉部長は、「指摘のように、当初はサービスを選択できるとしていた。県としても、介護サービスに不安がないように、市町村を支援していくとともに、改善すべき点は、国に反映させていきたい」と答えました。

「国にあらがっていることは、充分認識している。県として今後も努力していきたい」と述べ、高橋節健康福祉部長は、「指摘のように、当初はサービスを選択できるとしていた。県としても、介護サービスに不安がないように、市町村を支援していくとともに、改善すべき点は、国に反映させていきたい」と答えました。

酒田北港緑地展望台の指定管理者の指定について反対討論を行いました。

来年1月には知事選も行われますが、県政に対する県民のみならず、要求実現の力です。そして国政とも重なります。

この秋、日本共産党県議団はおおいに稼ぎ時です。

酒田北港緑地展望台の指定管理者の指定の議案など、また、党県議団が議会開会中に団体の要請行動に同席する機会もあり、忙しかうたです。こういった県民の活性化につながったのではないかと思います。

最終日には、知事提案議案最後の反対討論が、私を含めて2つ、賛成討論が1つ行われました。県議では何年ぶりでしょうか。

来年1月には知事選も行われますが、県政に対する県民のみならず、要求実現の力です。そして国政とも重なります。

この秋、日本共産党県議団はおおいに稼ぎ時です。

ゆり子の視点

県民要求の切実さ

10日開会した定例県議会は、かつてなく県民の方々の切実な声を実感する議会でした。

3日に行われた各常任委員会には、多くの傍聴者があり、審議を見守りました(山形広域環境事務組合のゴミ焼却場建設を中止する請願、M.A.輸入を止めようとする請願、私学助成の請願